

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マーブルキッズアスリート		
○保護者評価実施期間	R6年 9月 10日		～ R6年 10月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	R6年 9月 10日		～ R6年 10月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 10月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動をメインにしている。個別・集団での活動を取り入れ、児童のレベル・運動機能に合わせた取り組みを行っている。	児童の運動レベルや運動機能に合わせたプログラムを作成しチーム分けを行い児童にあったプログラム内容を行っている。集団プログラム・個別プログラムを混ぜながら取り組み。スモールステップで成功体験を増やしている。また、プログラム内容に【楽しい】と子どもたちが思える運動プログラムを入れ遊びながら運動を行えるように取り組んでいる。	運動が苦手・得意とする児童に対してのアプローチ。チーム分け・パートナーなどの自己決定の場を増やす。協調性のあるプログラムの導入。
2	運動がメインであるが社会スキル・生活スキルの向上に向けてのプログラムの導入	公園・外出・地域交流・アート・クッキング・工作等のイベントを取り入れ実施。運動以外でのスキルの向上を図れるように土・日・祝をメインに取り組めるようにしている。また、自己決定を行えるよう運動プログラム内に自己決定ができるように、子どもたちが決めるプログラムなどの時間を取り入れている。	社会スキル・生活スキルと運動がコラボしたプログラムを導入
3	スポーツ経験者のスタッフが多い	スタッフの強みを活かしたプログラムを導入し、運動やスポーツの楽しさを伝え、子どもたちが様々な運動やスポーツに興味を持ってもらえるようにしている。	より幅広いスポーツや運動の導入

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動を行う為のスペースの確保	施設内でのスペースが限られている。	限られたスペースを有効活用する。 地域の施設を使用する(体育館・公園・多目的室)など有効活用。
2	プログラムのマンネリ化	室内でできるプログラム・支援時間内にできる活動が限られている。	新しいプログラム内容など考えレパートリーを増やす
3	学習面での支援が少ない	運動がメインとなっている為、学習面をサポートする時間が少ない	座学での学習にとらわれず、運動×学習のプログラムを考える。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス マーブルキッズアスリート
------	-------------------------

公表日 2024年10月30日

利用児童数 36

回収数 27

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	3	2	1	十分に確保されていると思います	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2	0	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	4	2	2	居心地よく過ごせていると思います	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	3	3	1	ガラス張りですが差し込み明るい。 閉鎖された雰囲気がない。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	2	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	2	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	2	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1	2	0	毎月活動内容が変わり活動内容を楽しみにしている。毎日、違う事をしたと子どもが話をしてくれます。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	2	3	7		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	2	0	2	参加はしていないが、情報を頂いている	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	25	0	2	0	連絡帳や送迎時によくお話を聞ける	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1	2	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	3	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	4	0	1	参加できていないが、保護者会など活動をしている事は知っている	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	3	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	2	1	連絡帳や送迎時の申し送りの時に子どもの様子を丁寧に教えてくれる	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	4	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	3	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	1	0	0	休みの日にも行きたいと言っているので、安心して通所してと思っています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	4	0	0	高学年が少ない為、物足りなさを感じている時もある。様々なイベントが楽しみになっている。毎日、楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	0	2	0	運動がメインであるがもう少し宿題も見たい。子どもの楽しそうな顔を見たい。子どもが楽しそうにしているのが大満足です。	運動がメインになっているが、プログラム等での時間を改めて検討を行います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス マーブルキッズアスリート		公表日		2024 年 10 月 30 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	利用人数によって活動プログラムや内容を考え安全に運動や活動できるように行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2		児童数や状況によってスタッフを人数をより充実させる必要がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	床に数種類のカラーテープを貼り、児童への指示等や活動場所を具体的に伝え対応している。児童の荷物入れに名前を貼っている。	玄関前(外)1段の段差がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3		整理整頓。危機管理能力の徹底。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	階段、階段下、相談室など本人がクールダウンできる場所を決めて許可している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	PDCAに基づき日頃から振り返りを行っている。参加が難しいスタッフは様式を作り記載式で行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	評価表だけではなく保護者会など行い意向等の確認やニーズを拾いその後、改善に向けて取り組んでいる。アートイベントを実施した。	一部の意向だけではなく、より多くの保護者様等から聞ける場を設ける必要がある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	朝礼や振り返りを行い職員全員が発言できる場を設け、反映できるように記録を残している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		今後、必要に応じて第三者に入ってもらい、評価をしていただく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	社内研修や外部研修を積極的に取り入れている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	4	児童を対象としたプログラム1日の流れを提示している。1ヶ月のプログラムを作成し保護者へ配布	義務化によるプログラムの公表については準備中
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	随時、振り返りを行い分析を行っている。また、保護者様と面談を行い定期的に行い計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	気になった事や支援についてのミーティングを行い子どもへ支援について検討できる時間を設け、検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	支援計画についてスタッフ全員が周知できるように計画作成時に共有し進めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	連絡帳・個人記録を作成し、その日の記録を記載しスタッフ全員が記入や確認ができるようにしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	支援計画に掲載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	プログラム構成の中で担当スタッフを決めている。また、支援に入る前にスタッフ間でプログラム内容の確認を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	4	曜日ごとにプログラム内容を変更し固定化しないように決めている。	利用回数が多い児童に対してプログラムが被ってしまう時がある為、プログラムメニューのレパートリーを増やす必要がある。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別・集団を組み合わせた計画を作成している。 利用時間によっては個別活動を行っている。	集団活動がメインになる為、利用時間によっては個別プログラムができない時がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	毎朝、ミーティングを行い取り組んでいる。 プログラム内容によって担当を決め役割分担を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	振り返り・その日の報告を行う時間を作り共有できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	必要な時に支援会議を行い、支援の検証を行っている。イベントがあった時は振り返りできるように会議を行い記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的に取り組んでいる。 必要な時は個別支援計画の更新をしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	2	4つの基本活動をベースにプログラムに導入している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	プログラムにて自己決定、自己選択ができる内容を導入を行ったり、送迎車の座席を自己決定できるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	相談支援員や保護者様と連携を行い、必要に応じて開催している。また、セルフプラン対象の児童に対してはこちらからアプローチしている。	セルフプラン対象の方への担当者会議開催が難しい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4	連携し対応している	医療（医療協力機関）について連携しているが、より連携できる関係性が必要。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	スタッフ全員が随時、保護者様や学校と連絡を取り合い対応できるようにしている。トラブル時のマニュアルを作成している。	直接の情報提供を遮断している学校もある為、保護者様と連携をより強化する必要がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	6	グループ内に児童発達支援事業所がある為、必要な時に連携し情報交換を行っている。	幼稚園・保育園・認定こども園との情報共有をする必要がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	8	対象となる児童がいない。	今後、必要に応じて取り組む。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	8		必要に応じて機会を設けるように連携を強化する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	近隣の公園へ行き地域の児童と交流できるように遊びに誘う事を許可している。	児童クラブや児童館との交流の場を設けられる場を考える。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	8	協議会との交流会・研修に参加（1回）	自立支援協議会の関係者と関係性を深められる場に参加。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳・電話・送迎時に課題や状況について会話ができる機会を設けている。また、保護者会の開催を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	8	ペアレントトレーニングは出来ていないが、保護者会を定期的に行っている。	家族等が参加できる研修の機会を増やす為に外部研修の情報があれば周知し案内を行う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に説明している。 変更等あれば案内を送り対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	家族の意向、本人の意向を優先し作成。また、本人に聴き取りを行い取り組んでいる。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	面談を行い期間内に説明を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	2	必要に応じて面談や家庭訪問を行っている。 保護者会を定期的開催し子育ての悩みについての場を設けている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	保護者会の開催を定期的に行っている。 夏祭り、クリスマス会、運動会を実施し、ご家族様や兄弟姉妹を招き交流会として実施している。 また、参観日を行い普段の様子を見学できる期間を設けた。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	2	基本的な体制等のマニュアルを作成している。また、保護者様に事業所への評価やスタッフの対応等についてのアンケートを実施している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	Instagramにて配信を行っている。 毎月1回、児童の写真「フォト集」を保護者様に配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	SNSの投稿や配布書類などの児童の写真の投稿についてリスト化しスタッフが確認できるようにしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	状況に応じて対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	道路側は外から室内の活動が見えるようにしている。	事業所の行事に地域住民を招待した事がないため、今後、地域住民との交流の場を行う。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2	定期的に外部研修や内部研修を実施している。 1度ではあるが警察の方に依頼し、防犯教室を行った。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2	定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこのどもの状況を確認しているか。	8	0	保護者に聴き取りを行い、事前アセスメントを行っている。また、てんかんについての研修を行い、マニュアルを作成している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	アレルギーのある児童のリスト化を行い、スタッフ間で共有し提供しないように確認を行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	定期的に訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3	契約時に連携ができるように緊急連絡先を小さな紙に記入してもらい、避難時の持ち出し袋へ入れている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	スタッフが書きやすいフォーマットを作成し共有、検討会を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	定期的に開催し研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	3	契約時に保護者様に事前に説明を行っている。		